

～校長室から～

平間だより（第2号）

読者のみなさん、こんにちは。この平間だよりでは、学校や生徒の様子を紹介したり、私が日ごろ感じていることなどをお伝えしています。

第2号の今回も、私の身の回りに起きた最近の出来事をいくつか紹介させていただきます。

盗撮事件？

先の第1号でご紹介させていただきました野球部生徒のゴミ拾いですが、その後日談です。先日、職員室での朝の打合せが終わったあと、社会科のT先生から声をかけられました。

「校長先生、私、盗撮をしてしまいました。」

「そうですか、それは困りましたね。」

「これを見てください。」

目の前に出されたスマートフォンの画面をみると、野球部の生徒が空のペットボトルを手に持って歩いている後姿が写っていました。

「道路に落ちているペットボトルを拾っているんですよ。いや、すごいですね、感動しました。」

「はい、私も平間駅から学校に行く途中でゴミを拾う野球部の生徒を見たことがあります。」

T先生はJR横須賀線の新川崎駅を利用し通勤していますので、これで両最寄り駅利用の野球部生徒の行動実態を把握したことになります。

音楽とは

こちら先第1号でご紹介させていただきました本校の吹奏楽部の後日談です。1月25日(土)に、川崎市内高等学校連合音楽会が川崎市教育文化会館で開かれ、本校吹奏楽部が参加しました。午前が合唱の部、午後が演奏の部でしたが、私は学校での会議があり、午後の部に何とか間に合い鑑賞することができました。

本校はトップバッターの多摩高校さんの次でしたが、多摩高校さんのギターアンサンブルは総勢70～80名！くらいの大編成で、一糸乱れぬ見事な演奏を

披露してくれました。本校はというと、生徒 4 名と顧問の先生 1 名の 5 名編成でした。

「音楽は、音を楽しむって書くんだよ」

これは音楽家 つのだひろ氏 の言葉ですが、本校の生徒たちは見事にスイングしていました。音を楽しんでいました。こころ温まる演奏で、外はまだまだ寒い冬の日でしたが、私は暖かい気持ちで会場を後にすることができました。

卒業

3月1日に三年生が巣立ってゆきました。私は昨年4月に着任しましたから、三年生と一緒に過ごしたのはほんの一年足らずでした。もったもったいろんな話をしたかったのですが、時が経つのは本当に早いものです。

生徒会長だったA君が答辞を読みました。A君の力強い気持ちというより、魂の入ったという表現がピッタリの声が、静かな会場に響きます。A君は、これから自分たちが向かう厳しい現実を前に、種田山頭火の句を引用し、その決意を見事に表現してみせました。

分け入っても、分け入っても、青い山

本番に強いA君の真骨頂でした。そのような成長著しい生徒たちを前に、私はといえば、式辞でPTA会長さんのお名前が最後まで出てこなくて、とんだ失態を演じてしまいました。三頭火の句が身に沁みた一日となりました。まだまだです。

新しい家族

プライベートな話題で恐縮です。我が家に新しい家族が“やってきました”。私は川崎市内のはずれの町に住んでいて、そこの町内会の役員をしていますが、その町も少子高齢化が進んでおり、特に高齢者の一人暮らしの世帯が増えています。昨年暮れに近所の一人暮らしのおばあちゃんが亡くなられ、アメリカ在住の娘さんが一時帰国をされました。役員をしている関係で、その娘さんと亡くなられた方のお宅でお会いしたのですが、その時にお隣の部屋から「ニャー

ニャー」という声が聞こえてきました。聞けばおばあちゃんが大事にしていた猫の「白ちゃん」とのこと。「猫ちゃんはどうされるんですか？」とお聞きしたところ、「アメリカには連れていけないので、動物愛護協会とかに引き取ってもらおうかなと思っていますが」とのこと、お困りの様子でした。そこで、動物好きな我が家が一肌脱いだ、というところ。とても人なつこい性格で、引き取ったその日から家内にちゃっかり抱っこされていました。

いまはすっかり我が家の一員として暮らしていますが、ご近所の方のお話は、ときどきおばあちゃんと住んでいた家を見にいつているようです。

「白ちゃんは、もともとノラちゃんだったのをお母さんが拾って一緒に暮らすようになったんですよ」と娘さんが言うておられました。動物は恩を受けた人のことを忘れないといいます。見習わなければ、です。

2014年 弥生
角田